

【 造影MRI検査とは 】

MRI装置を使って、体の断層画像を撮影するのですが、今回の、造影MRI検査では、“ガドリニウム製剤”という薬（造影剤）を、腕の静脈から注射して撮影します。造影剤を使用することで、診断がより確実になります。

検査にかかる時間は、約30分です。まず、撮影する基準（場所）を決めてから撮影を開始します。検査終了までは動かないでください。また、撮影部位によっては、何度か繰り返し息を止めていただく事があります。

【 造影剤の副作用 】

造影剤を使うと、稀に副作用が起こることがあります。

- ① 軽い副作用：吐き気、動悸、頭痛、かゆみ、発疹などで、基本的には治療を要しません。このような副作用の起こる確率は、約100人につき1人以下、つまり1%以下です。
- ② 重い副作用：呼吸困難、意識障害、血圧低下、腎機能低下などで、通常治療が必要で、後遺症が残る可能性があります。そのため、入院や手術が必要なこともあります。このような副作用の起こる確率は、約1万人につき5人以下、つまり0.05%以下です。
- ③ 病状・体質によっては、約100万人につき1人の割合（0.0001%）で、死亡する場合があります。

造影剤は、血管外に漏出することがあります。この場合は、注射した部位が腫れたり、痛むことがあります。時間がたてば吸収されますので心配ありません。

【 ご注意・確認していただきたいこと 】

- ① 心臓ペースメーカーをつけている方は、申し出てください。
- ② 妊娠の可能性のある方、検査当日体調の悪い方は、検査前にお申し出ください。
- ③ 授乳中の方は、検査後48時間は授乳しないでください。
- ④ 喘息の方、腎機能の悪い方、鉄製剤を服用している方、その他アレルギー体質の方には、造影剤を使用できない場合があります。担当医に確認し、検査前に申し出てください。
- ⑤ 検査前には、水分（水・お茶のみ）を適度に補給しておいてください。また、検査後は水分を多めに摂ってください。（医師から水分制限をされている方以外）
- ⑥ 帰宅後、気分が悪くなったら当院へご連絡ください。稀に、1～3日後にアレルギー反応が出ることがあります。異常を感じられた時は、主治医にご相談ください。